情報生命博士教育院
「情報生命特別講義第一」

（本講義は生体分子機能工学特別講義第二の代わりとして開講いたします）

テーマ：　「薬はどのようにして生み出されるのか―
実際の創薬の現場から―探索研究からプロセスへ」

講義日程：　7月2日（水）　3－8 限　10:45～16:35
7月9日（水）　3－8 限　10:45～16:35

講師：　北嶋 浩　氏（7月2日）
田辺三菱製薬 研究本部創薬化学第二研究所
第一部長

中山 敬司　氏（7月9日）
第一三共　技術本部プロセス技術研究所
主任研究員

場所：　すずかけ台キャンパス　B2棟2階　B225講義室

本講義では、製薬会社の研究所に勤務されている先生をお招きして、薬がどのようにして創薬の現場から生み出されるかを、実例を交えてお話して頂けます。7月2日は探索研究を中心に、どのように薬の種が生まれ開発化合物に仕上がっていくか、7月9日は開発化合物がどのように実験室レベルから臨床に供給できるレベルにスケールアップしていくかについて講義して頂く予定です。奮ってご参加下さい。

≪担当教員≫　秦　猛志（大学院生命理工学研究科　生体分子機能工学専攻）
≪問合せ先≫　情報生命博士教育院　すずかけ台事務室　office@acls.titech.ac.jp